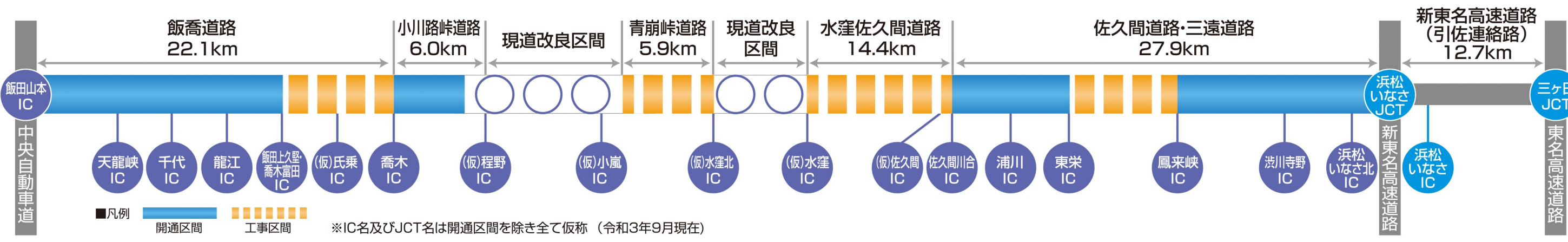


実現しよう！ 早期開通 三遠南信 自動車道

三遠南信自動車道の開通状況



【三遠南信地域のさらなる発展を目指して】

三遠南信地域の人口は244万人を超え、多様な経済資源や豊かな自然環境、特色ある歴史・文化は、都道府県にも匹敵する高いポテンシャルを有しています。市町村合併や広域交通ネットワークの整備による地域構造の変化、また、道州制や国土形成計画など国の地域づくり制度の検討が進められる中、地域住民をはじめ、大学、経済界、行政など圏域の発展を願う様々な関係者が力を合わせ、平成20年に「三遠南信地域連携ビジョン」を、平成31年3月に新たに「第2次三遠南信地域連携ビジョン」を策定しました。

【三遠南信自動車道】

三遠南信自動車道は長野県飯田市山本と静岡県浜松市北区引佐町を結ぶ延長約100kmの高規格幹線道路で、国道474号の自動車専用道路として整備されています。完成すれば飯田市から浜松市を約120分で結び、南信州と東三河・遠州地域との時間と距離を大幅に短縮するため、地域間交流をはじめ、新たな観光資源の活用、産業の発展、過疎地域の振興のほか、山間部の救急医療や災害対策など、県域を越えた広域的な経済圏や文化圏の形成に大きく寄与することが期待されています。

【三遠南信地域の鉄道網】

三遠南信地域には、国土の東西軸である東海道新幹線やJR東海道線、名古屋鉄道名古屋本線が通り、地域内には、JR飯田線、名古屋鉄道豊川線、名古屋鉄道蒲郡線、遠州鉄道鉄道線、天竜浜名湖鉄道天竜浜名湖線、豊橋鉄道渚美線など、多様な鉄道網があります。また、2027年の東京～名古屋間を開業を目指して計画が進められるリニア中央新幹線の中間駅が飯田市に設置されることになり、地域内外の交流促進がますます加速することが期待されています。